

## 山口瑞鳳教授 略歴

大正15年2月21日生（石川県）

### 学 歴

- 昭和19年3月 富山県立神通中学校卒業  
昭和22年3月 金沢工業専門学校機械科卒業  
昭和25年3月 第一高等学校文科（丙類）卒業  
昭和28年3月 東京大学文学部印度哲学梵文学科卒業  
昭和33年3月 東京大学大学院（旧制）退学  
昭和39年9月 フランス国立 Ecole Pratique des Hautes Etudes 第4，第5学部退学  
昭和54年9月 東京大学において文学博士の学位取得

### 職 歴

- 昭和33年10月 フランス Centre National de la Recherche Scientifique, attaché de recherche  
昭和37年10月 ロックフェラー財団 給費研究員（在仏）  
昭和39年11月 財団法人東洋文庫 専任研究員  
昭和45年5月 東京大学文学部助教授（文化交流研究施設）  
昭和54年4月 同 教授  
昭和56年2・3月 フランス国立 Collège de France の招きに La fondation du royaume tibétain d'après les sources anciennes の題で連講  
昭和61年1月 東京大学教授より名古屋大学教授に転任  
昭和64年3月 名古屋大学定年退官予定

### 受 賞

- 昭和59年6月 日本学士院賞

## 山口瑞鳳教授主要著作目録

### 1. 著 書

- 昭和44年 『チベット語文語文法教科書』（ユネスコ東アジアセンター）

- 昭和58年 『吐蕃王国成立史研究』(岩波書店)  
 昭和62年 『チベット上』(東京大学出版会)  
 昭和63年 『チベット下』(東京大学出版会)

## 2. 論文

- 昭和28年 「訳梵藏文文法論」(東大文学部卒論, 未刊)  
 昭和29年 「訳梵藏文における自動詞文の研究」(『大倉山学院紀要』1)  
 昭和31年 “On the Tibetan syntaxes” (『大倉山学院紀要』2)  
 昭和32年 「チベット語接続辞 te について」(『東洋学報』39-4)  
 昭和38年 「顧実汗のチベット支配に至る経緯」(『岩井博士古稀記念典籍論集』)  
 昭和40年 「ヨーロッパのチベット学」(『印度学仏教学研究』13-2)  
 昭和41年 「古代チベット史考異」上(『東洋学報』49-3)  
 昭和42年 「古代チベット史考異」下(『東洋学報』49-4)  
 昭和42年 「チベットの仏教」(講座東洋思想5 『仏教思想』I)  
 昭和42年 「吐蕃——伝承と制度からみた性格」(『歴史教育』15-9・10)  
 昭和43年 「蘇毗の領界」(『東洋学報』50-4)  
 昭和43年 「チベット・シッキム・ブータンの仏教」(『仏教大年鑑』)  
 昭和42年 「チベット文化の背景」(『チベットの秘宝展』)  
 昭和44年 「白蘭と Sum pa の rLangs 氏」(『東洋学報』52-1)  
 昭和44・45年 “Matrimonial Relationship between the Tufan and the T'ang Qynastioś, I, II  
 (*Memoirs of Toyo Bunko*, nos.27, 28)  
 昭和45年 “rTsang yul and Yan lag gsum pa'i ru” (*Acta Asiatica*, no.19)  
 昭和46年 「東女国と白蘭」(『東洋学報』54-3)  
 昭和47年 「吐蕃の国号」(『日本西蔵学会会報』18)  
 昭和48年 「吐蕃王家の祖先」(『駒沢大学仏教学部研究紀要』31)  
 昭和48年 「女国の部族名 dMu」(『日本西蔵学会会報』19)  
 昭和48年 「チベット仏教と新羅の金和尚」(『新羅仏教研究』)  
 昭和48年 「寝悉董摩と sPu de gung rgyal」(『中村元博士還暦記念論集』)  
 昭和49年 「チベットの暦学」(『鈴木学術財団研究年報』10)  
 昭和50年 “The geographical location of Sum yul” (*Acta Asiatica* 29)  
 昭和50年 「ring lags rBa dPal dbyangs」(『平川彰博士還暦記念論集』)  
 昭和50年 「敦煌チベット文語の解釈について」(『東大文学部文化交研施紀要』1)  
 昭和51年 「『三十頌』『性入法』の成立時期をめぐって」(『東洋学報』57-1・2)  
 昭和52年 「吐蕃」の国号と「羊同」の位置(『東洋学報』58-3・4)  
 昭和52年 「活仏について」(『玉城康四郎博士還暦記念論集』)

- 昭和52年 “On the Annals relating to Princess Wen-ch'eng” (*Memoirs of the Toyo Bunko* 35)
- 昭和53年 「吐蕃王国仏教史年代考」(『成田山仏教研究所紀要』 3)
- 昭和53年 「『諸王統史明示鏡』の著者と成立年」(『東洋学報』60-1・2)
- 昭和54年 「『十六条清浄人法』の虚構と吐蕃の刑法」(『隋唐帝国と東アジア世界』)
- 昭和54年 「七世紀前半の吐蕃とネパールの関係」(『東大文学部文交施設研究紀要』 2)
- 昭和54年 「二卷本訳語釈序」の研究」(『成田山仏教研究所紀要』 4)
- 昭和54年 「吐蕃王国の成立と法令・制度」(『中国律令制とその展開』)
- 昭和55年 「ダルマ王の破仏とその殺害者」(『勝又俊教博士古稀記念論集』)
- 昭和55年 「ダルマ王殺害の前後」(『成田山仏教研究所紀要』 5)
- 昭和55年 「ダルマ王の二子と吐蕃の分裂」(『駒沢大学仏教学部論集』 11)
- 昭和55年 「吐蕃支配時代」(講座敦煌第二巻『敦煌の歴史』)
- 昭和55年 「中国禅とチベット仏教——摩河衍の禅」(講座敦煌第八巻『敦煌仏教と禅』)
- 昭和55年 “Localisation de rTsang-yul” (*Acta Orient. Hung.* 34)
- 昭和56年 「沙州漢人による吐蕃二軍団の成立と mkhar tsan 軍団の位置」(『東大文学部文交施設研究紀要』 4)
- 昭和55年 「ラダックの仏教と歴史」(『秘境ラダック』)
- 昭和56年 「チベットとチベット学について」(『チベット文化研究会報』1981-7)
- 昭和57年 「チヨナンパの如来蔵説とその批判説」(『田村芳朗博士還暦記念論集』)
- 昭和57年 「チベット史料の年次計算法」(『東洋学報』63-3・4)
- 昭和57年 「漢人及び通頼人による沙州吐蕃軍団編成の時期」(『東大文学部文交施設研究紀要』5)
- 昭和57年 「チベット仏教史略説」(『東洋学術研究』21-2)
- 昭和57年 「カダム派の典籍と教義」(『東洋学術研究』21-2)
- 昭和57年 「チベット仏教典籍解題」I (『成田山仏教研究所紀要』7)
- 昭和57年 「チベットの歴史」(『西藏——ラマの世界』毎日コミュニケーションズ)
- 昭和58年 「(チベットの) 歴史」(『大チベット展』毎日コミュニケーションズ)
- 昭和58年 「チベット (仏教)」(玉城康四郎編『仏教史』II, 山川出版社)
- 昭和59年 “Methods of chronological calculation in Tibetan historical sources” (*Tibetan and Buddhist Studies, commemorating the 200th Anniversary of the Birth of Alexander Csoma de körös, Budapest*)
- 昭和59年 「チベット学と仏教」(『駒沢大学仏教学論集』15)
- 昭和59年 「接統辞《dang》と《na》の用法の変遷」(『東大文学部文交施設研究紀要』6)
- 昭和59年 「虎を伴ふ第十八羅漢図の来歴」(『神秘思想論集』)
- 昭和60年 「チベット史における漢文史料の誤伝」(『東洋学報』66)
- 昭和60年 「チベット仏教の特質」(『チベット文化研究会報』9-2・3)
- 昭和60年 「キリスト教徒の見たチベット仏教」(『国立教育会館通信』)

- 昭和60年 「十九世紀までのチベット旅行記」(『思想の動き』18)
- 昭和60年 “On the author and date of the *rGyal rabs rnam s ky i byung tshul gsal ba'i me long*”  
(*International Conference on China Border Area Studies*. Taipei)
- 昭和60年 「「La 義七字」の用法分類と de nyid の解釈」(『東大文学部文交施設研究紀要』7)
- 昭和60年 「『デンカルマ』八二四年成立説」(『成田山仏教研究所紀要』9)
- 昭和60年 「rdzogs tshigs の働きと用法の変遷」(『チベットの仏教と社会』)
- 昭和62年 「チベットの歴史」(『チベットの言語と文化』)
- 昭和62年 「インド仏教における「方便」」(『東方』3)
- 昭和62年 「助動詞 «yin» «yod» と動詞 «dug»——訳経文を含む古代文献の用法——」(『高崎直道博士還暦記念論集』)
- 昭和63年 「シャーンタラクシタの中観」(『仏教思想史論集』)

### 3. 批評

- 昭和40年 上山大峻 「曇曠と敦煌の仏教学」(『東洋学報』47-4)
- 昭和40年 長沢和俊 「チベット——極奥アジアの歴史と文化」(『東洋学報』48-1)
- 昭和40年 シェルクスマ 「rtsod pa——チベットにおける僧院の論議」(『東洋学報』48-2)
- 昭和46年 E・G・スミス 『パンチェン・ラマ I 世自伝』解説 その他(『東洋学報』63-3・4)
- 昭和47年 A・マクドナルド 「ペリオ・チベット文書の讀解」(『東洋学報』54-4)
- 昭和48年 Z・アフマド 『十七世紀における中国・チベット関係』(『東洋学報』55-4)
- 昭和54年 佐藤長 『チベット歴史地理研究』(『史学雑誌』88-11)
- 昭和54年 フランス国立図書館編 『国立図書館チベット語文献抄』(『東洋学報』61-1・2)
- 昭和55年 L・ペテック 『ラダック王国』(『東洋学報』62-1・2)
- 昭和39・40・50・51年 「回顧と展望(チベット)」(『史学雑誌』)

### 4. 編纂

- 昭和45年 *Catalogue of the Toyo Bunko collection of Tibetan works on history*, Toyo Bunko
- 昭和52~60年 『スタイン蒐集チベット語文献解題目録』9分冊
- 昭和59年 『スタイン蒐集チベット語文献解題目録』索引

### 5. 訳書

- 昭和46年 R・A・スタン 『チベットの文化』岩波書店 共訳者 定方晟

### 6. 校訂テキスト

- 昭和48年 *Sum cu pa dang rtags ky i' jug pa bshugs so. Studia Tibetica II*. 東洋文庫